



立 校 会 行
熊 本 県
高 森 高 等 学 校
後 援 委 員 会 発 行
第 520 号



入学式

4月8日(月)に平成31年度入学式が行われ、新入生男子14名、女子15名、合計29名が新たに高森高校生の仲間入りをしました。たくさんの方々が拍手と吹奏楽部の演奏の中、緊張した面持ちで入場した新入生たちでしたが、喜びとこれからの高校生活への期待でキラキラ輝いていました。

式では、飯田校長先生から入学許可があり、高森高校の歴史や校訓、新入生への歓迎の意を込められた式辞を述べられました。それに応えて新入生代表の後藤乃枝瑠さんが高森高校のスローガン「一人一人が輝く学校」のもと夢や目標に向けて努力し充実した3年間にしていこうことを宣誓しました。

また、式後には高森町・南阿蘇村からの助成金の目録が工藤後援会会長に贈呈されました。

高森高校でこのからの3年間で子ども達にとって実り多きものになるよう、後援会保護者一同心より応援してまいります。

「母校に思う期待と責務」

後援会会長 工藤 智宏

本年4月より後援会会長のを務めております。私自身、本校を卒業して早24年の月日が経ちました。森高校は新しくなりましたが、高森高校に足を運ぶと懐かしい思いでいっぱいです。令和という新しい時代の幕開けとなった節

目の年に会長という大役を仰せつかりました。事を大変光栄であるとともに、大変光栄であると同時に、先生方をはじめ皆様のご支援を頂きながら、母校の発展のため自分なりに一生懸命に取り組んでまいりますので、よろしくお願いします。

高森高校は昨年70周年を迎えた伝統ある学校です。現在全校生徒110名という小規模校ですが、その伝統にふさわしく、校内ですれ違ふ生徒からの気持ちのいい挨拶はもちろんの事、

生徒一人ひとりがそれぞれの目標に向かって多くの課題をこなすし、勉強や部活動に励んでいる姿はとても輝いています。

子ども達の高校生活が常に安全で、安心して過ごす事が出来るよう、また全力で勉強や部活動に取組める環境を整える事が私達の責務だと思います。

保護者の皆様や先生方、そして地域の皆様として、より良い後援会組織を築けますようご理解ご協力をお願い致します。

致しまして挨拶とさせていただきます。

飯田裕校長先生にインタビュー

Q1 南阿蘇の印象はいかがですか?

雄大な自然の素晴らしさを感じています。夏の涼しさ、冬の厳しさが、どちらも魅力的です。山歩きが趣味で、高森高校周辺の山はかなり歩きました。また、風鎮祭のように、地域で脈々と受け継がれている伝統文化も印象的です。そして、地域の皆さんの穏やかな人柄にも惹かれます。

Q2 今までで一番嬉しかったことは何ですか?

過去のことは随分忘れていますが、高森高校で、とするならば、生徒が一生懸命に取り組む姿や笑顔を見近に感じられることで、先生が一生懸命に頑張っているというの、他の学校にはない、小規模校ならではの魅力だと思います。

Q3 高森高校の生徒に一言お願いします。

今の自分を大切にしながら、新しいことにも立ち向かっていきましよう。もちろん、失敗したり挫けたりすることもあるでしょう。いろいろなことを吸収していき、新しいことにも粘り強く生きていく、しなやかになり、強い生き方をめざしてください。

令和元年度高森高校後援会新役員



会長 長 智宏
副会長 井 芹 太一
監 査 後藤 正恵
監 査 平盛美恵子

学年	委員
1-1	甲斐 靖・近藤 裕子
2-1	興梠あゆみ・後藤久美子
2-2	井芹 照美・小林さおり
3-1	岡本真由美・野尻いづみ
3-2	秋山てる美・加藤 実加

広報委員	
1 - 1	伊藤 美香・渡邊 美里
2 - 1	後藤美由紀・杉本ともみ
2 - 2	佐藤 由美・森山 由美
3 - 1	山村 玲子・後藤 友美
3 - 2	岩下 安宏・野尻はるみ

後援会総会

～楽しいある一年を～

広報委員長 山村 玲子

いよいよ新元号にうつり、令和元年の後援会総会が5月11日に多目的ホールに於いて開催されました。保護者総数104名に対し、出席者67名、委任状37名で総会の成立が確認されました。高校生となったお子様が初めての親御さんもあり、少々緊張の中で総会が行われました。議事はスムーズに流れて、後援会新役員も揃い、今年度一丸となり頑張られる様子に頼もしさを感じました。スマートフォンなど通信機器の普及に伴い、「高森高校安心メール」登録の説明、また、お子さんの成績等の情報をいち早く確認できるクラッシュ活用しました。そして、スマートフォン等、を正しく使用できるようルール、マナーの指導も行われました。

学級懇談会では各自生徒のクラスへ行き、担任の先生からの挨拶、保護者の自己紹介などをしながらのプチ懇談。3年生は卒業に向けての行事確認。夏休みには三者面談を実施し、進路の最終確認をする流れでした。一年間はあつという間です。親も子も悔いのないよう精一杯過ごしてまいりましょう。

